

困りごと、悩みごとについて

性的マイノリティの方々は、自身の性のあり方や他人との違いに違和感を日頃から感じています。また、さまざまな困りごとや悩みごとを抱えています。



カミングアウトって?

カミングアウトとは、これまで公にしていなかった自身の性的指向や性自認などを自ら打ち明ける(表明する)ことです。人に打ち明けることは、とても勇気のいることです。あなたのことを信頼して打ち明けたことですので、自分の普通を押し付けることなく、しっかりと耳を傾け、相手の思いを受け止めましょう。

アウティングに注意!

本人の同意なしに、相談やカミングアウトされたことを第三者に暴露することをアウティングといいます。本人から聞いたことを勝手に他の人に話すこと(アウティング)は厳禁。アウティングは重大な人権侵害になります。

Ally(アライ)について

Ally(アライ)とは、多様な性のあり方を当たり前のことと認識し、支援する人たちのことです。多様な性を理解し、支援する気持ちを持てば、誰でもこの瞬間からAlly(アライ)になることができます。

相談窓口

●よりそいホットライン

※性別や同性愛などに関わる相談専用回線があります。

0120-279-338 24時間対応

●みんなの人権110番(法務省)

0570-003-110
(8:30~17:15 ※月~金、ただし祝日は除く)

図書 LGBTコーナー



山形市男女共同参画センター「ファアラ」では関連書籍を集めた図書コーナーを設けています。



山形市では、市職員・学校教職員を対象としたLGBT対応サポートハンドブックを平成31年に作成しました。



山形市HP

このリーフレットについてのお問い合わせは

山形市男女共同参画センター「ファアラ」

TEL.023-645-8077 FAX.023-645-8055

[E-mail]fala@city.yamagata-yamagata.lg.jp



多様な性を正しく理解しよう

「性的マイノリティ(性的少数者)」や「LGBT」という言葉を耳にしたことがありますか?

野に咲く花にもそれぞれ色や香りの違いがあるように、私たちの個性も多種多様。

一人ひとりの「性のあり方」にもそれぞれ違いがあり、多様です。

違いを理解し認め合うまち山形を目指して、多様な性を理解することから始めてみましょう。

山形市

性の多様性って？

性のあり方はひとそれぞれで異なり、構成する要素とその組み合わせは人の数ほどあると言えます。
ここでは性を構成する要素から4つのポイントについてご紹介します。

からだの性(生物学的な性)

「からだの性」とは、出生時のからだの性別のことです。実は女性にも男性にもさまざまな体の状態があります。

こころの性(性自認)

自分がどの性別であるかなど個人的な認識を言います。生物学的な性別と一致する人もいれば、一致しない人もいます。また、「どちらの性別でもない」「自分の性別がわからない」という認識を持つ人もいます。

好きになる性(性的指向)

恋愛感情や性的な関心・興味がどの性別に向いているかを言います。

表現する性(性表現・社会的性)

服装やしぐさ、言葉づかいなど、自分が表現したい性別があります。

性のあり方はグラデーションのようになっていて、その組み合わせのバリエーションは様々です。
これらは、個人の趣味や一過性のものではなく、本人の意思で変えられるものでもありません。

性のグラデーション



LGBTとSOGIって？

LGBTとは、**レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー**という、性的指向・性自認が非典型な人々のうち代表的とされるものの頭文字を取った総称です。

これらの他にも、アセクシャル(同性も異性も好きにならない人)、クエスチョニング(性自認や性的指向が明確ではない人)などがあり、そうした非典型のひとつとを広く総称して、**性的マイノリティ(セクシュアル・マイノリティ、性的少数者)**とよぶこともあります。

これに対して、「SOGI(ソジ・ソギ)」とは、「**性的指向(Sexual Orientation)**」と「**性自認(Gender Identity)**」の頭文字を取った総称で、全ての人の多様な性・特徴をあらわしています。

Lesbian(レズビアン)

同性を好きになる女性

Gay(ゲイ)

同性を好きになる男性

Bisexual(バイセクシャル)

同性も異性も好きになる人

Transgender(トランスジェンダー)

こころと身体の性が一致しない人

Sexual Orientation

SO

性的指向

Gender Identity

GI

性自認



こんなことを言っていないですか？

会社や学校、家庭でのふとした日常会話でこんなことを言ったりしていませんか？

何気ない言葉が、友達や同僚、家族を傷つけているかもしれません。



このような不用意な発言は、たとえ冗談のつもりであっても、

不快に感じる人がいるかもしれません。

「自分のまわりにはいないから…」と思っても、

いないのではなく、言えないだけ。

あなたのそばにも不安や困難を抱えている人が

いるかもしれないと想像してみてください。

違いを受け入れ、お互いを尊重することが

多様な性を理解する第一歩です。